

青少年からのメッセージ

11月15日(土)、青少年健全育成協議会市民大会が青少年センターホールで開かれました。

その大会のなかで、「青少年からのメッセージ」作品の表彰式が行われました。

「青少年からのメッセージ」は様々な形式での自己表現を通して青少年の人格形成とともに、地域における青少年の健全育成に対する関心を高めることを目的に、平成12年から毎年、作文や漫画・イラスト形式のメッセージを募集しており、今年度は15回目となりました。今回は「私にがんばる力をくれたことば」をテーマに募集したところ、小学生から高校生までの青少年から、総数9871点の作品が寄せられました。

作文中学生の部で本校1年 宮本 莉子さんの作品が銅賞を受賞しました。表彰式では、松井一實広島市長より表彰状を頂きました。さらに本校では、2年 門田 いろはさん、2年 小林 夕莉さんも入選しました。本当におめでとうございました。

生徒のみなさん、多くの応募をありがとうございました。



青少年からのメッセージ 銅賞

【失敗の大切さ】

広島市立祇園中学校 1年
宮本莉子

私には、いつも大切にしている言葉があります。それは、「失敗する時は、成長する」という言葉です。私は、小学生のころ失敗するたびに、先生が毎日心分けていてくれました。失敗は怖いことでも大切なことばです。失敗を全然したことがありませんでした。この言葉で、挑戦する大切さを学びました。失敗を恐るべきではありません。失敗は、恥と思いません。失敗を恐れず、何でも挑戦できるような自分を作りたいです。私に大切なことばです。

青少年からのメッセージ 入選

【1秒前の自分】

広島市立祇園中学校2年
小林夕莉

私にいつも力を与えてくれる。くじけそうな心に、負けるなとエールを送ってくれる。私にとっての、がんばる力をくれたところ。それは、「1秒前の自分に勝つ」である。なぜ、このことばなのか。それには、きっかけがある。

私は今年、陸上部に入部した。部活のない学校からの転校にてよる入部だ。自分以外は皆、1年間の練習を経て、強くなっている。それで自分は、人と比べられるものではなかった。そんな時に、エディオンスタジアムの記録会に行った。練習をしない人の後ろ姿、その人のTシャツに書いていた言葉「1秒前の自分に勝つ」が目に入った。その時、ずっと遅いだろうと言っていた自分がばかばかしく思えてきた。人と比較しても「本当に自分が成長したのか」はわからない。だったら、すぐ後にいる、1秒前の自分に勝てばよい。

1秒前の自分よりも早く走る、遠くへ跳ぶ。どんなに小さな進歩でも、積み重ねて大きくする。そしていつか、県の標準記録を突破する。「1秒前の自分に勝つ」ことを目標にして、今後陸上に励んでいきたいと思う。